



# 休みの楽しみはサッカー

## 6/19 延岡市内のベトナム人実習生

延岡市内の「ものづくり企業」で働くベトナムからの技能実習生らがサッカーチームをつくり、活動を楽しんでいる。16日には、初めての試合を市内の社会人チーム「FC延岡」60歳以上のメンバーと行い、交流を深めた。

技能実習生を活用する同市大武町の「亀山工業」が中心となって活動が始まった。黒木幹悟さん(24)＝機械加工オペレーター主

集合写真に納まるベトナム人チームとFC延岡

任が「日本ではベトナム語で放送されているテレビもないし、楽しいことがないのではないか。プライベートが充実できれば」と、同僚の技能実習生にサッカーを提案したのがきっかけ。話を聞いた実習生はとても喜び、独自の

ネットワークを使って市内の他企業のベトナム人労働者にも連絡。約半年前から毎週日曜日に集まって「遊び感覚」でサッカーをするようになり、今では未経験者も含む20代の十数人が趣味で楽しくボールを蹴っている。この日は、事前に準備したベトナム代表さながらの赤色のユニフォームを全員が着用する気合の入りのよう。一丸となってゴールに迫り、得点するたびに笑顔がはじけた。

FC延岡のメンバーは「体力もあるし、技術も高い。何よりもまじめでマナーがいい」と口々に感想。市サッカー協会理事長も務める中川勝博さんは「サッカーを通じて交流できるのは素晴らしいこと。本人たちも仲間意識が高まる有効的な機会だと思つ。今後一緒にサッカーをしていければ」と大歓迎した。

黒木さんは「FC延岡の皆さんには本当に感謝です。サッカーをする時間がベトナムのみんなのリフレッシュとなり、日本に来て良かったと思つてもらえる一つになればうれしい」と話していた。